学校インターンシップQ&A

Q1 教員志望でなくても参加できますか?

A1 もちろん参加可能です。学校インターンシップは教員を志望している学生だけのプログラムではありません。年少者と接することで、学生でありながら大人としての自覚をもつ絶好の機会となりますので、ぜひチャレンジしてください。ただし、学校によっては「教職志望者のみ」などの受入条件を設定している場合もありますので注意してください。

Q2 学校ボランティアとどう違うのですか?

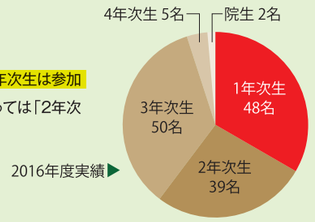
A2 学校ボランティアは「学生個人の自主的な活動」であるのに対して、学校インターンシップは「大学教育の一環」として位置づけられています。そのため、学校現場で研修する前に、マナー講座や教職キャリアデザイン講座等の事前講座への参加、研修後も報告会への出席や業務日報・研修報告書の提出を義務づけています。これらの条件を満たした人には、単位が認定されます。

Q3 学校インターンシップに参加すると、教員採用試験に有利ですか?

A3 学校インターンシップが、教員採用試験において直接的に有利になることはありません。しかし、早期に学校現場を体験することで、教育実習に行く前に、教員の様々な業務を知ることができ、自分の適性や今後の目標を確認する良いきっかけとなります。また、将来教員になったときの、様々な事例への対応能力を養うこともできるでしょう。その点では、間接的ですが論文や面接等で自分の考えを示すときに役立つでしょう。

Q4 1年次生でも参加できますか?

A4 学校インターンシップは学年を問わず参加可能です(大学院生を含む)。ただし、政策創造学部の1・2年次生は参加できません。2016年度は50名弱の1年次生が学校インターンシップに参加しました。なお、学校によっては「2年次生以上が望ましい」という受入条件を設定している場合もありますので注意してください。



Q5 研修中の交通費は支給されますか?

A5 業務日報と研修報告書を大学に提出したインターンシップ生を対象に交通費の補助を行います(通学定期区間の交通費を除く。研修日が大学の夏休み期間中であっても同様の扱い)。
交通費が10,000円を超した場合のみ補助します(支給上限額:12,500円)。
※交通費が 10,000 円に満たない場合は、補助対象外です。　※対象は公共交通機関のみです。駐輪場代や貸し自転車代などは支給対象外。

その他ご不明な点があれば、高大連携センターまでお問い合わせください。

■2016年度 受入申込状況(学校種別)

学校種	受入申込校数	受入可能人数
高等学校	46	122
中学校	40	158
小学校	86	343
幼稚園	14	51
合計	186	674

学校インターンシップ業務日報を公開!

2016年度、研修を行った学生の日報の一部を閲覧できます。また、インターンシップに関する相談は、高大連携センター(千里山キャンパス)、総合情報学部オフィス、ミューズオフィス、堺キャンパス事務室で受付ています。

【お問い合わせ先】
関西大学
社会連携部 高大連携センター
(新関西大学会館北棟1階)

〒564-8680
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL(06)6368-1184(直通)
FAX(06)6368-0858
E-mail : koudai@ml.kandai.jp
関西大学 学校インターンシップ　検索　click
http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/

●新関西大学会館北棟

関西大学

学校インターンシッププログラム

Kansai University
School Internship Program
2017

大規模プログラム

本学では例年、200弱の幼稚園・小学校・中学校・高等学校等から、受入申込みがあり、毎年150名前後の学生を、インターンシップ生として学校現場へ派遣しています。

充実の研修内容

学校現場での研修内容は多岐にわたっており、様々な業務を体験することができます(受入校により、研修内容は異なります)。
[研修内容例]
授業補助、補習・勉強会補助、運動会や文化祭、オープンスクールなどの行事補助、校務補助、部活動指導補助、進路相談、図書室業務補助、支援学級補助、帰国生徒・留学生支援補助など

学校インターンシップとは

インターンシップとは、通常、企業や官庁等での就業体験をいいますが、本学では、大学生が学校・園で就業体験する学校インターンシップを実施しています。教育実習では主として授業に力点がおかれますが、教員の仕事は授業にかぎりません。教員のさまざまな仕事の補助を、しかも高校から幼稚園にわたる学校現場で体験できるプログラムです。ふだん同世代とつきあうことの多い学生諸君が、学校という異なる年齢の集団から構成される学校現場に関わることで「大人」としての自覚を得る機会でもあります。

将来教職をめざしている、いないにかかわらず、自分の適性を考え、将来を設計するキャリアデザインの一環として、多くの学生が学校インターンシップに参加し、貴重な体験を共有してもらえることを期待しています。

高大連携センター長 品川 哲彦

■学校インターンシップの概略

対象者

学部生・大学院生で、誠実に学校インターンシップに取り組める人すべてが対象です。
※学年、学部、教職志望の有無などの条件は、原則としてありません
（ただし、政策創造学部は3・4年次生に限る）。

研修先

本学が協定を結んでいる教育委員会の幼稚園・小学校・中学校および近隣の高等学校等
（受入申込校・園の中から、各自で研修先を選択）。

研修期間・内容

2017年8月上旬～12月中旬の間に、研修先（学校現場）で、総計36時間以上の研修を行います。
研修期間は、主に2タイプあります。

◆短期連続型 ➡ 大学の夏休み期間に研修を行う。
（例）8月上旬～9月中旬の間の10日間など

◆長　期　型 ➡ 大学の授業が空いている日・時間帯に研修を行う。
（例）9月中旬～12月中旬の間、毎週特定曜日1日など

※インターンシップ生受入申込校および研修内容は、「募集説明会」でお知らせします。
※最終的には研修先学校との面談により、研修日程の詳細が決まります。

インターンシップ期間中の必要経費については、原則自己負担です。
ただし、研修先への交通費は大学で一部補助しています（詳細は学校インターンシップQ&Aを参照ください）。

単位認定

以下の条件を満たした際には単位認定されます。
①事前講座1・2・3、事後講座を全て出席　②業務日報・研修報告書の提出　③研修時間が36時間以上
※学部によって、インターンシップの単位認定の取り扱いが異なりますので、単位認定の詳細については募集説明会にて説明します。

■手続きの注意

誓約書

インターンシップ期間中に知り得た学校・園およびその在校生、関連機関等の機密事項の取り扱いおよび就業規則に関する「誓約書」に提出していただきます。

事故補償

インターンシップ期間中に不慮の事故などが発生した場合に対応するため、原則として全員損害保険に加入していただきます（自己負担 ： 210円）。なお、教育実習、介護等体験、ビジネスインターンシップ等に参加するために、すでに同保険に加入している場合は不要です。

注意　学校インターンシップの千里山キャンパスで行う各種行事は原則として水曜日の5時限目に実施します。また、面接は6月4日（日）に千里山キャンパスで行います。あらかじめスケジュールをあけておいてください。

注意　本プログラムは、大学の授業の一環として実施しているため、事前講座の無断欠席等、取り組み状況によっては派遣を取り消すこともあります。

■スケジュール

学校インターンシップ募集説明会

学校インターンシップの概要説明の他、受入申込みのあった学校・園の『研修内容一覧』および『申込み書類』を配布し、申込み時のポイントを説明します。

千里山　5月10日（水）　①16:20～17:10　②18:00～18:50
高　槻　5月12日（金）　12:10～13:00
ミューズ　5月16日（火）　12:10～13:00
堺　5月15日（月）　12:10～13:00
会場：インフォメーションシステム等でお知らせします。

注意　募集説明会に参加しなければ、学校インターンシップにはエントリーできません。

WEBエントリー及び申込書の提出

5月24日（水）15:00まで　締切厳守

選考・面接

千里山　6月4日（日）　10:00～16:00（予定）
会場：千里山キャンパス　新関西大学会館北棟ホール

事前講座❶　内定者オリエンテーション

千里山　6月14日（水）　16:20～17:50
会場：インフォメーションシステム等でお知らせします。

事前講座❷　ビジネスマナー講座

千里山　6月21日（水）　16:20～17:50
会場：インフォメーションシステム等でお知らせします。

事前講座❸　教職キャリアデザイン講座

千里山　7月5日（水）　16:20～17:50
会場：インフォメーションシステム等でお知らせします。

研修スタート 業務日報・研修報告書の作成・提出

8月上旬～12月中旬

事後講座（事後報告会）

千里山　9月20日（水）　16:20～17:50
12月13日（水）　16:20～17:50
※必ずいずれか1回参加してください。

■研修内容例

短期連続型

特徴
- 大学の夏休み期間に実施される研修のため、学期中は大学での授業が多い学生でも参加しやすい。
- 研修内容は運動会（体育祭）や文化祭などの行事補助、勉強合宿や夏期講習の指導補助、クラブ活動補助、プール指導補助が多い。

事例1　幼稚園

研修内容	●保育補助 ●行事補助
研修期間	9月9日～13日
研修時間	5日間、約37時間

長期型

特徴
- 長期にわたる研修のため、児童・生徒の成長過程を見ることができ、コミュニケーションもとりやすい。
- 研修内容は、授業補助や支援学級補助、部活動補助など多岐にわたる。

事例2　小学校

研修内容	●授業補助 ●運動会練習補助 ●支援学級補助
研修期間	8月29日～9月29日
研修時間	17日間、約106時間

事例3　中学校

研修内容	●図書館業務
研修期間	9月11日～12月18日 毎週水曜日
研修時間	12日間、約65時間

事例4　高等学校

研修内容	●留学生への日本語指導 ●授業（英語）の見学・補助
研修期間	9月11日～12月18日 毎週水曜日
研修時間	13日間、約41時間

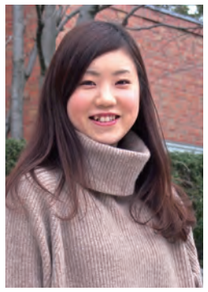
インタビュー

忙しくなる3、4年次のことを考えて、1年次から学校インターンシップを経験。高校、小学校と2年連続の参加を通じて、教員の仕事の内容とやりがいを体感できました。

大学入学時の目標は、高校の英語科教員。そのために、実際の教育現場を体験したい思いがありました。でも、3、4年次には教育実習や教員採用試験の対策で忙しくなりますし、海外留学も経験したいという思いもあります。そこで1年次から高校でのインターンシップに参加。期間は、夏休み中に参加できる短期型を選びました。

派遣先の高校では、授業見学のほか、教材や連絡用の資料作成など先生方の実務の補助をさせていただきました。現場での実務を学ぶことができた一方、生徒とあまり交流できなかったことが反省点として心に残りました。

2年次には、小学校での短期型インターンシップに参加。期間中は、5年生のクラスを対象に、授業見学や行事補助、算数の授業でのアシスタントもさせていただきました。前回の課題を踏まえて、積極的に児童たちと交流したので、楽しく過ごすことができました。印象深いのは、運動会で披露するソーラン節の練習でのことです。先生の助言を受けて、私も児童たちと一緒に体を動かして練習するうちに、最初は集中していなかった子も一生懸命に取り組むように。教員が行動や態度で示すことが、児童たちの意欲や姿勢を養うことを学ぶとともに、生徒の成長が目に見えて分かる小学校教員にやりがいを感じました。派遣先の先生の誘いもあり、今もボランティアとしてこの小学校で活動中。実は今、あらためて小学校教諭免許を目指そうかなと考えているところです。



相澤 茉奈さん
文学部 2年次生（学年は研修時）